

学生の授業評価アンケートに対するフィードバック一覧(2026年4月)

学生の皆さんへ

2025年度秋学期の授業評価アンケートに回答いただき、ありがとうございました。

皆さんから寄せられた率直な意見や要望には、各科目の担当教員がすべて目を通し、今後のより良い授業づくりに役立てています。

本一覧表は、アンケートで集まった主な声(【学生の意見・要望】およびその【要約】)と、それに対する各担当教員からのフィードバックコメントを科目ごとにまとめたものです。

教員からのコメントには、皆さんからの指摘に対する資料の修正や学習環境の改善状況、次年度以降の授業改修に向けた展望などが具体的に記載されています。また、科目の意図や、より効果的な学習方法に関するアドバイスも含まれていますので、ぜひ読んでみてください。

皆さんの声を真摯に受け止め、より学びやすく、実りある教育環境を提供できるよう、大学全体で継続的な改善に取り組んでいきます。今後も率直なご意見を宜しくお願いします。

2026年4月15日 サイバー大学 FD専門部会

No.	年度学期	科目区分	科目名	学生からの意見・要望	担当教員から学生へのフィードバックコメント
1	2025年度秋学期	専門科目	ITとビジネスのための基礎数学	<p>【要約】 公式の暗記ではなく本質や応用を解き明かす構成が好評な一方、難易度の高さやスライドの情報過多に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・透明ボードでの手書き解説や数値を動かせるインタラクティブ教材により、公式の意味を直感的に理解できました。 ・「なぜその計算が必要か」という本質的な説明からAI等への応用イメージが明確になり、学習意欲が高まりました。 ・初学者には全体的に難易度が高く途中式の省略でつまづく場面があったため、詳細な計算プロセスの提示や練習問題の追加を希望します。 ・スライドの文字が細かく情報過多に感じました。重要箇所の赤字強調や、配布資料との不一致・誤字の修正をお願いします。</p>	<p>青山先生より 公式の暗記ではなく、現実の課題と数学をリンクさせ、数式の意味や本質を理解するという本講義のコンセプトが皆さんに伝わり、AI等への応用イメージを持っていたことが心強いです。</p> <p>一方で、難易度が高く計算過程でつまずいたという声や、スライドの情報過多についてのご指摘も真摯に受け止めています。スライドは全体像を把握していただく意図で情報を集約していましたが、視認性向上のため1枚あたりの情報量を見直し、式変形を1ステップずつ丁寧に示すよう改修を進めました。また、一部の講義内容の大幅なリニューアルや練習問題の拡充、誤字の修正等も既に対応済みです。</p> <p>本科目で培った「客観的に分析する数学的思考力」を、今後のデータ分析やビジネスの現場で存分に活かしてください。</p>
2	2025年度秋学期	専門科目	情報処理のための基礎知識	<p>【要約】 コンピュータの仕組みをパズル感覚で楽しく学べたと好評な一方、難易度の偏りや複数に分かれた資料、実用性の説明不足に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・コンピュータの仕組みをパズルのように楽しく学べました。先生の丁寧な解説や見やすいスライド、すぐ理解度を確認できる演習や小テストのおかげで力がつきました。 ・苦手な数学が情報処理にどう応用されるのか、0と1の論理演算に落とし込むプロセスが体系的に理解でき、知る喜びを感じました。 ・難易度が高く、回によって偏りもあるため勉強時間の確保が大変でした。モチベーション維持のため、実務でどう役立つかの説明や、応用問題をもっと増やしてほしいです。 ・各回の学習資料が複数に分かれていて不便なので、PDFを1つにまとめてほしいです。また、復習用にスライドへ要点を追記してほしいほか、スマホの音声バックグラウンド再生機能も希望します。</p>	<p>松本先生より コンピュータの仕組みをパズルのように楽しく学べ、知る喜びを感じていただけたことを大変嬉しく思います。数学に苦手意識があった方も、情報処理の基礎理論を体系的に理解できたことは素晴らしい成果です。</p> <p>難易度の偏りや資料の使いづらさでご負担をおかけしました。実社会での活用例については、ディベート等で関連情報を発信して補足しました。さらに、本講義は2026年度秋学期に向けて全面的な改修を予定しており、スライドに要点を追記して情報量を増やし、印刷しやすいよう資料構成を統一するなどの準備を現在進めております。</p> <p>本科目で学んだ、複雑な問題を単純化し機械的に解くための基礎は、これからの学習で必ず役立ちます。焦らずご自身のペースで学びを深めてみてください。</p>

3 2025年度秋学期	専門科目	データサイエンスのための確率統計	<p>【要約】 Excelを用いた身近な解説が好評な一方、高度な内容や途中式の省略、抽象的な記号の多さに苦戦する声が目立ちました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な例やExcel操作から、統計と実社会の結びつきを楽しく学べました。丁寧なQ&Aや励ましのお知らせも完走の支えになりました。 ・全体的に難易度が高く、抽象的な記号の理解に苦戦しました。各分布が実際の業務でどう使われるのか、前半から具体的に教えてほしいです。 ・計算の途中式を省かずに記載し、説明箇所はポインターで示してほしいです。また、誤植の修正や公式まとめPDFの配布をお願いします。 ・知識定着のため、難易度別の練習問題とその詳しい解説を増やしてほしいです。自習用に講義で使ったExcelシートの実物配布も希望します。 	<p>大塚先生より Excelを用いたシミュレーションや身近な例を通じて、難解な確率統計と実社会・ビジネスとの結びつきを具体的にイメージし、楽しく学んでいただけたことを大変嬉しく思います。Q&Aも積極的に活用し、難易度の高い本科目を最後まで完走された皆さんの努力に敬意を表します。</p> <p>しかし、抽象的な記号の多さや計算過程の省略により、理解に大きなご苦労をおかけした点は課題と受け止めています。講義資料における誤植や分かりにくい表現については、すでに修正を済ませました。また、計算過程の詳細な解説や練習問題が欲しいというご要望に対しては、自習の助けとなるよう補助資料等で練習問題を追加し、皆さんの学習をさらにサポートできるようコンテンツの充実を図ってまいります。</p> <p>本科目で身につけた確率・統計的思考は、データ分析の土台となる重要なスキルです。ぜひ今後の学びや実務に大いに活かしてください。</p>
4 2025年度秋学期	専門科目	インターネット入門	<p>【要約】 身近な事例や図解による丁寧な解説が基礎習得に役立つと好評な一方、スライドの文字量や情報鮮度、担当回ごとの説明のばらつきに改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例や図解を用いた論理的で丁寧な解説により、インターネットの仕組みから情報倫理まで、実生活や仕事に直結する幅広い基礎知識を体系的に学びました。 ・最終回での後継科目の紹介や、各回の明確な学習目標の提示が、今後の学習プランや目標とする職種の明確化に繋がる良いきっかけになりました。 ・複数の教員が担当するため、回によって説明の明瞭さやスライド構成にばらつきを感じました。 ・スライドの情報過多や文字の小ささ、一部情報の古さが気になりました。誤字脱字の修正、用語集や全体図の追加、口頭のみでの説明の資料への反映を希望します。 	<p>池田先生より 身近な事例を通じ、インターネットの基礎から情報倫理まで、今後の学習の土台となる知識を体系的に学んでいただけたことに確かな手応えを感じています。後継科目の紹介が将来の目標を明確にするきっかけとなったという声も、初年次向け科目として大きな励みです。</p> <p>オムニバス形式に伴う説明のばらつきや、一部の音声ノイズで集中を削いでしまった点は、今後のコンテンツ改善の課題として真摯に受け止めます。また、スライドの誤字や小テストのわかりにくい設問は、円滑に学習できるよう修正を進めていきます。</p> <p>今後は専門用語が多くなる回での補足資料の提示やQ&Aの活用、関連科目との横断的な交流会の実施など、理解を深めるフォローアップをさらに充実させます。本科目で得た基礎知識を今後の専門科目の学びに大いに活かしてください。</p>

5 2025年度秋学期

専門科目

データサイエンス入門

【要約】

説明やデータ分析のデモンストレーション動画は好評な一方、数学の補足、スライド集約、スマホ視聴環境などの改善要望があります。

【学生の意見・要望】

- ・実際の活用方法を動画で説明して下さったので、学習内容のビジネスでの活用方法がイメージしやすかったです。
- ・知っているということが前提での進め方であったので、入門と銘打っているのであれば、新しい単語（知識）や数式に対して、もう少し丁寧に解説をしていただけたら良かったです。
- ・学習資料を印刷して勉強している学生としては、パラパラ漫画のようになっているスライドは、情報量の少なさに相反してコピー用紙とインクを無駄遣いするだけです。
- ・各回第4章の実習動画は、画面が小さく、スマホでは何をやっているか分からない。

浅田先生より

授業評価アンケートにて率直なご意見をいただきありがとうございます。ほぼ毎回設置しているデータ分析デモ動画に対し、データ活用のイメージを掴めたという評価が多く、大変嬉しく思っております。

数学要素が難しいという声もしっかりと受け止めています。本科目では中学程度の数学知識を前提に作成をしています。また、数式や公式の暗記、計算の正確さは全く求めていません。むしろ、授業内で強調しているように、その数式で何がやりたいのか？という数式の意味に着目していただくとデータ分析に対する理解が更に深まると思います。もちろん、久々の学習で、中学数学でも不安に思われる方もいらっしゃると思います。そのような場合は、リメディアル教材なども活用しながら、ご自身のペースで少しずつ理解を深めてみてください。

また、学習環境の改善要望にも順次対応しています。ご要望いただいた複数スライドで説明している内容を1枚に集約した学習資料はもちろん、印刷派の方に向けたインク消費を抑える「印刷用減色版」、背景を黒にすることで目の負担軽減や視認性の向上を目的とした「ハイコントラスト版」のスライドなど、みなさんがご自身のニーズに合わせて選べる学習資料を学学期前から提供しています。デモ動画の文字サイズについても、見やすさ改善のための動画の再編集を進めており、26春学期はデモ動画13回分中8回で再収録及び教員自身による編集を実施しました。26秋学期には全件対応が完了する予定です。

藤田先生・池田先生より

アンケートにて「実務に直結するスキルが身についた」「知らなかった便利な機能を発見できた」といった声を多数いただき、担当教員として非常にやりがいを感じています。

教材の形式や視聴環境につきまして、本科目では、Microsoftのバージョンアップに対応し、動的で分かりやすい学習内容をお届けするため、一部で外部の動画教材を採用しています。そのため、権利の都合で一律でのPDF配布が難しい部分がありますが、動画教材の元となっている参考図書を知り、動画の推奨視聴環境を周知したりすることで、より快適に学習できるよう改善を図っていきます。

また、Macをご利用の方向けには、Windows版と操作が異なる機能について補足資料を用意していますが、今後は「どこを見れば違いがわかるか」がすぐ伝わるよう、案内の工夫を進めていきます。

6 2025年度秋学期

専門科目

オフィスソフトウェア基礎演習

【要約】

実務に役立つと好評な一方、テキスト形式の教材への不満、PDF資料の配布、Mac版への配慮を求める声が挙がりました。

【学生の意見・要望】

- ・普段より使い慣れているソフトの中で、まったく使ったことがなかった機能の発見ができ、仕事でも便利に利用できました。
- ・全編テキストを読み進める形式で時間がかかりました。動画が細切れでサイズも小さく見づらいので、講義動画にしてほしいです。
- ・スライドをすべてノートにとっていましたが、PDF資料を配布していただくとメモを入れながら進められるのでありがたいです。
- ・Macを使っていたためテキストと違う使い方が多々あり、「Macだとここは違うよ」とわかりやすい表示があればいいと思いました。

7 2025年度秋学期	専門科目	コンピュータ入門	<p>【要約】 体系的な基礎知識や最新情報、資格試験対策に有益な内容が好評な一方、一部の回で使用されたAI音声の不自然さや初学者への配慮不足に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの歴史からハードウェア、ソフトウェアの動作原理まで網羅的に学べ、自分の知識をアップデートできました。 ・複数の講師がそれぞれの専門性を活かして解説し、実体験を交えた話や見やすいスライド、資格試験の練習問題などが学習意欲を高めました。 ・第15回の1～3章などで使用されたAI音声のイントネーションや発音が不自然で、内容が頭に入ってこず集中を阻害されました。 ・第10回、第11回などで早口や専門用語の多用が目立ちました。初学者向けに図解や例え話を増やし、資料に補足説明を反映してほしいです。 	<p>末永先生より ブラックボックスからの脱却を目指し、仕組みを理解したエンジニアへと踏み出した皆さんの熱意を心強く感じています。歴史から動作原理までの基礎習得が知識のアップデートに繋がったという声は、オムニバス担当陣の大きな励みです。</p> <p>第15回等のAI音声は「生成AIの試験的導入」でしたが、不自然な発音で集中を阻害した点は今後の改善に直ちに活かします。また、スライドの誤字や小テストの不適切な設問は、より円滑に学べるよう既に修正を済ませました。</p> <p>早口や専門用語へのご指摘も真摯に受け止め、初学者向けの図解や補足説明をさらに充実させます。本科目で得た「揺るぎないITの原理原則」を強固な土台に、専門科目や最新技術の領域へと力強く進まれることを期待しています。</p>
8 2025年度秋学期	専門科目	プログラミング入門	<p>【要約】 Blocklyを用いた段階的な学習やユーモアある解説に満足する一方、後半の難易度や課題の提示方法に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーモアを交えた丁寧な解説や、Blocklyを使ったスモールステップでの学習により、初心者でも楽しくプログラミングの基礎を学びました。 ・実際にコードを入力して動かすことで達成感があり、「広げようのコーナー」などの工夫によってさらに視野が広がりました。 ・後半は難易度が高くついていくのが大変だったため、課題の目的をより明確に示してほしいです。また、自分の書いたコードが解答例と違う場合の解説（別解の可否）や、入力練習の増加も希望します。 ・Blocklyとコード入力画面の行き来が手間なため、画面レイアウトの改善を求めます。さらに、単位取得後も復習のために動画や演習環境を利用し続けたいです。 	<p>田中先生より ユーモアを交えた解説や段階的な学習が「初学者でも楽しく学べた」「プログラミングの基礎が身についた」と好評をいただき、大変うれしく思います。プログラミングの第一歩として、自分でコードを動かす楽しさや達成感を感じていただけたのであれば、担当教員として本望です。</p> <p>終盤はJavaScriptでの直接入力やエラーメッセージの読み方など、難易度が少しずつ上がります。期末試験に向けて不安に感じたら「補習授業（第15回）」などを活用して理解を深めてみてください。また、別解の解説や入力練習を増やすこと、演習環境の改善など、皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の講義内容やシステムのアップデートに向けた参考にさせていただきます。</p> <p>プログラミングは焦らず復習やQ&Aを活用し、自分のペースで進めることが大切です。ここで得た基礎と「考える力」は今後の問題解決に必ず活きます。</p>
9 2025年度秋学期	専門科目	IoT入門	<p>【要約】 体系的な解説やQ&Aでの情報発信が好評な一方、スライドの情報過多や図の小ささ、音声の聞き取りづらさに改善要望が挙がりました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoTに関して理解しやすい順番で学びました。Q&Aでの大江先生やTAさんの情報発信も役に立ちました。 ・講義を通じて自身で是非プロトタイプを構築してみたくなりました。 ・スライドが細かすぎて何を重点的に理解すればいいかわからなかった。一枚の情報量を減らして欲しい。 ・本題に入るとボソボソと聞き取り難い口調に変わっていたように感じたので、改善をお願いしたい。 	<p>大江先生より IoTの全体像を掴み、プロトタイプを作りたいと意欲を持っていただけたこと、長年この分野に携わる者として大変心強く思います。交流会での皆さんの熱心な姿勢も印象的でした。</p> <p>スライドの細かさや音声に関するご意見も確認しました。複雑な技術を正確に伝えるため情報量が多くなりがちですが、今後は「今どこを説明しているか」が視覚的にすぐ分かるよう資料を工夫し、明瞭な発声も心がけていきます。</p> <p>IoTは新たな価値を生み出す実践的な技術です。学んだ基礎を土台に、皆さんのアイデアをぜひ実際のモノづくりへ繋げてください。</p>

10 2025年度秋学期	専門科目	Cプログラミング演習	<p>【要約】 演習を通じた実践的な学習と丁寧な解説が好評な一方、ポインタなどの難解な概念やコード入力の多さに苦戦する声がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・各章ごとに動画と演習が分かれており、手を動かしながらコードを学ぶスタイルが理解を深めるのに効果的でした。丁寧な解説やQ&Aでの迅速なサポートに助けられました。 ・全体的に難易度が高く、特に「ポインタ」や「配列」といった抽象的な概念に苦戦しました。ポインタについては、前半からもう少し詳しい説明や見通しが欲しかったです。 ・長いコードを手打ちする作業が多く、タイプミスや全角半角の違いで時間を空費してしまうため、コピペ可能にしたり、入力補助（括弧のセット表示等）を取り入れたいです。 ・学習資料とスライドの内容に差異がある点の修正や、Mac環境での操作説明の追加、また演習の様子（入力途中など）を動画で見せてほしいといった要望がありました。</p>	<p>松本先生より 講義と演習を交互に行うスタイルが好評で、「難しかったが力がついた」との声を多くいただき、大変うれしいです。ポインタなどの概念に苦戦された方も、自分でコードを修正し試行錯誤した経験は必ず今後の糧になります。</p> <p>コード入力の多さや後半の難易度の上がり方について、ご負担をおかけしました。ポインタ等のより詳しい解説やアルゴリズム・メモリ管理等の発展的な内容は、続く「C言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造」でじっくり学べる構成としています。タイピングや細かな文法も、反復するうちに自然と手が動くようになります。</p> <p>プログラミングは一度で完璧に理解するのは難しいため、焦らず自分のペースで学習を進めることが大切です。分からなくなった時は、焦らず前の章に戻って復習したり、Q&Aを積極的に活用したりしてください。エラーを一つひとつ解消する地道な作業こそが、プログラミング習得の確かな一歩となります。</p>
11 2025年度秋学期	専門科目	ネットワーク技術基礎	<p>【要約】 体系的な図解や丁寧な解説が好評な一方、実機映像やシミュレーション、資料情報の充実を求める声がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・「インターネット入門」での抽象的な理解が、本講義の具体的解説により「なるほど！」と腑に落ちる瞬間が何度もあり、非常に楽しく受講できました。 ・図と説明の矢印や数字が色分けされたスライドが分かりやすく、RFC（技術標準）の明記もあったため、自分自身でどんどん調べていく際に役立ちました。 ・専門用語がすでに知っている前提で進む箇所があったため用語定義の徹底や、ネットワーク機器の実物映像、シミュレーション等の導入を希望します。 ・スライド内容に対して口頭説明の比重が大きいため補足情報の記載を増やすことや、復習用に小テストの解答ファイルを印刷しやすくしてほしいです。</p>	<p>橋本先生より 前提科目である「インターネット入門」の知識が具体的な「納得」に繋がったというご意見で、授業設計で狙った部分がうまく噛み合った結果かと思えます。</p> <p>専門用語が多いこともあり、授業内で説明はしていても聞き流してしまうと、説明されていないように感じられるかもしれません。そのため、授業の中では用語集として一覧でまとめるとともに、章単位でどの箇所の説明しているのかを明示しています。本科目のみに限らず、今後の学習にも役立つと思いますので、ぜひ活用してください。</p> <p>授業改善に関するこれまでの声に応え、本科目は全体的に大きく更新する予定です。内容面では、各階層の知識習得に留まらず、ネットワークの「フロー」と「運用・監視の実務」へより、実際のネットワークにおける通信の流れを段階的に学べるように更新し、説明の仕方等についてはスライド内容と口頭説明のバランスを見直し、少し応用的な内容については補助資料等別の資料として時間外学習として役立てられるようにする予定です。加えて、ネットワークの動的な動きを視覚的に確認するのは非常に理解の助けになるため、簡易的なシミュレーションも補助教材として整えたいと思います。</p> <p>本講義で学んだネットワーク技術の基礎は、様々な分野でも生きてきますので、ぜひ武器として活用してってください。</p>

12 2025年度秋学期	専門科目	Pythonプログラミング入門	<p>【要約】 手書きによる丁寧なコード解説や実行環境を用いた実践的な学びが好評な反面、音声の聞き取りにくさや演習の少なさ、用語の難解さに改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・スライドへの手書きやポインターを用いた処理の解説が非常に分かりやすく、エラーメッセージの親切な解説や実行結果の補足により、未経験でも仕組みをしっかりと理解できました。 ・練習問題や実際に手を動かせる演習環境（goorm、Colab）での学習が、基礎から機械学習の入り口まで段階的に知識を定着させるうえで大変役立ちました。 ・動画の音声小さくもって聞こえる回や、リップノイズが気になる回があり、字幕もないため学習に集中しづらい場面がありました。 ・「インスタンス」などの用語が難解で情報過多になりがちなため、関数等のまとめ表が欲しいという意見や、講義と演習をもっと明確に分けて自分で考える実践問題を増やしてほしいです。</p>	<p>松田先生より 手書きの解説や具体的なエラー対応を通じ、プログラミングの仕組みをしっかりと理解していただけました。講義間の段差を減らし「つまづかない」構成を目指した工夫が、未経験の方の助けになり心強いです。</p> <p>音声小さく聞き取りづらい点については、よりクリアな音声で集中して学習できるよう、収録時の音量バランス等の改善に努めます。また「インスタンス」等オブジェクト指向の用語が難解であるというご指摘も真摯に受け止めます。今後は用語まとめ表などの提示も検討し、講義から演習への学習サイクルをさらに洗練させます。また、関数などの基本構文のまとめものは初回に公開していますが、告知が足りなかったかもしれません。参考にさせていただきます。基礎構文から機械学習の入り口まで、本講義で得た知識を今後の応用に活かしてください。</p>
13 2025年度秋学期	専門科目	C言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造	<p>【要約】 視覚的な図解や演習が好評な一方、PDF資料のレイアウト不備や、小テストの解説不足への改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・アルゴリズムの動きを視覚化した解説や実習環境での演習により、難解な概念も納得して学べ、自身の成長を実感できました。 ・PDF資料の改ページで文字が切れる、一部が不鮮明、フォントが不揃いといった不備の改善を希望します。 ・復習のために動画内の全スライドを資料に掲載し、小テストの演習問題には具体的な解説と正解を明記してほしいです。 ・字幕が章ごとに再表示される仕様の改善、より実務に即した最新の演習内容の追加をお願いします。</p>	<p>松本先生より C言語を通じたアルゴリズム学習を完遂し、成長を実感していただけたことを非常に心強く思います。アニメーションを用いた視覚的解説や実習環境での演習が、難解な概念の理解に繋がったのであれば幸いです。</p> <p>PDF資料のレイアウト不備や不鮮明さについては、ご不便をおかけしましたことお詫びいたします。より読み取りやすい資料になるよう、できる限りの改善に努めます。動画内のスライドは、枚数の多さを考慮し抜粋版を提供しておりましたが、希望される方は全スライドを参照できるよう、完全版も用意しました。また、小テストの演習問題についても、復習をよりスムーズにするため具体的な解説の拡充を検討してまいります。</p> <p>ポインタやデータ構造の知識は、効率的なプログラム設計の基盤となります。ここで得た確かな基礎を糧に、ぜひさらなる応用へ挑戦し続けてください。</p>
14 2025年度秋学期	専門科目	UNIX入門	<p>【要約】 演習を通じてUNIXのコマンド操作を実践的に学べたことが好評な一方、発音の聞き取りにくさや、UNIXを学ぶ目的・全体像が掴みづらいという声が多く寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・スライドと演習が連動した構成により、講義動画で輪郭を掴み、演習で実際にコマンドを動かして理解を深めるサイクルが効果的でした。 ・事前に小テストが提示されていたため講義に集中でき、TAからの迅速な回答にも助けられました。仕事でLinuxを使う際にも役立ちました。 ・講師の発音が聞き取りにくく、字幕頼りになり学習に集中できないという不満が多くありました。また、音声バランスのばらつきや、字幕の誤り、資料の誤植・脱字も気になりました。 ・コマンドの羅列になりがちで、「UNIXが実社会でどう役立つのか」「何のためにこれを学んでいるのか」といった目的や全体像が掴みづらく、モチベーションを保つのが難しかったです。</p>	<p>陳先生より 演習を通じてUNIXのコマンド操作に慣れ、ご自身の可能性や業務への応用を感じていただけたことを大変うれしく思います。小テストの事前提示やTAのサポートが学習の助けになったという声は励みになります。</p> <p>発音の聞き取りにくさや字幕の不備、資料の誤植等で学習に多大なご不便をおかけしたことをお詫びいたします。また、「何のためにUNIXを学ぶのか」という全体像や目的が掴みづらかったというご指摘については、今後、コマンドの役割を整理した資料の追加や、実社会での活用イメージを伝えられるよう、改修を進めていきたいと思っております。</p> <p>UNIXの操作は、一度に全てを暗記しようとせず、演習環境で何度も手を動かして「体で覚える」ことが大切です。エラーが出ても焦らず、ぜひ試行錯誤を楽しみながらスキルを磨いていってください。</p>

15 2025年度秋学期	専門科目	プロジェクトマネジメント入門	<p>【要約】 身近な例えや毎回の復習による実践的な解説が好評な一方、英語略語のフルスペル併記やケース演習、失敗事例の追加に要望が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・カレー作りなどの身近な例えを用いた解説や、各回冒頭での前回の復習が非常に分かりやすく、実生活や実務に直結する知識を学びました。 ・先生の経験に基づく実践的なお話や段階的な講義構成により、WBSからPDCAサイクルまでプロジェクト管理の全体像が明確になりました。 ・スライドで英語の略語（RFPなど）を使用する際は、記憶の定着を促すためにも毎回フルスペルを併記してほしいです。 ・小規模な架空プロジェクトを用いた一連の作成演習や用語のまとめ表、よくある失敗例などの具体的な事例を増やしてほしいです。</p>	<p>勝先生より カレー作り等身近な例えを通じ、WBSからPDCAまでプロジェクト管理の全体像を、皆さんの実生活や実務に紐づけて理解していただけたことに確かな手応えを感じています。</p> <p>略語のフルスペル表記へのご要望は今後の参考とし、一部発見された資料の不備については既に修正を済ませました。また、作成演習やリアルな失敗事例の追加を望む声についてですが、実際の現場事例は守秘義務の観点から詳細な公開が難しいため、今後は教訓を抽象化して伝える工夫を続けます。演習に関しても、入門科目の枠組みの中で取り組める練習問題の提供を検討いたします。</p> <p>本講義で学んだ「ダンドリ」の思考を、今後の様々な場面で存分に活かしてください。</p>
16 2025年度秋学期	専門科目	経済学入門	<p>【要約】 身近なケースを用いた解説が好評な一方、グラフや計算式のより丁寧な補足と、印刷用資料の工夫を求める声がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・毎回ビジネスの現場における課題に対してそれを解決するための「経済学」という進め方が興味深く、楽しかったです。 ・数学が苦手なので、グラフの説明をもう少しゆっくりしてもらえるとありがたいと思いました。 ・授業全体の資料とは別に、印刷用のグラフを作っていただけるとありがたいと思いました。 ・口頭の説明が資料に書かれていないものもあったので、記載されているとより理解しやすいと感じました。</p>	<p>石川先生より 私の実務経験を交えたケースを通じて、「経済学は面白くて役に立つ」と実感できたのであれば、これに勝る喜びはありません。</p> <p>グラフや計算への要望も寄せられました。経済学において数式やグラフは、複雑な現実世界を論理的かつ客観的に整理するための重要なツールです。とはいえ、今後は数式への抵抗感を減らせるよう、「要するにこういうこと」と直感的に理解できる丁寧な解説をさらに心がけていきます。また、より学習しやすくなるよう、書き込み用グラフ資料の別途配布についても検討を進めます。</p> <p>経済学の思考法は、直面する課題を解決する強力な武器になります。ぜひ実社会で活用してください。</p>
17 2025年度秋学期	専門科目	企業経営入門	<p>【要約】 豊富な実例を用いた解説が分かりやすく、起業や経営への興味が湧いたと好評な一方、資料の文字量や内容の均等さ、音声に要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・馬場先生の一定のリズムで滑舌の良い話し方や、見やすいスライドのおかげで、スムーズに理解できました。 ・AppleやAmazon、身近な企業の成功・失敗事例が豊富で、企業経営を具体的にイメージでき、起業への意欲が湧きました。また、簿記検定の勉強にも役立ちました。 ・スライドの文字量が多く、内容が文字だけだと単調で理解が追いつかないことがありました。口頭での補足説明をスライドに追記したり、重要なポイントを強調したりしてほしいです。 ・各回の授業内容の重さが均等すぎて、何を一番身につけさせたいのかが分かりづらかったです。また、事例のデータが古い箇所があるため、最新の情報へのアップデートを希望します。さらに、動画の音量が小さく、発音や音が当たる音が気になりました。字幕の表示機能も欲しいです。</p>	<p>馬場先生より 豊富な企業事例を通じて、企業経営への興味や起業への意欲を持っていたことを大変頼もしく思います。学術的な知識だけでなく、経営実務で生きる生きた知識を届けたいという私の思いが、皆さんの新たな気づきやモチベーションに繋がったのであれば幸いです。</p> <p>スライドの文字量や内容の均等さ、事例の古さなどについてご指摘をいただき、ありがとうございます。これを受け、本講義は2026年度秋学期に向けて全面的な改修を進めています。改修にあたっては、高校新卒の若い方から経験豊富な社会人の方まで、より幅広く対応できる内容にアップデートし、学習のポイントがより明確になるよう授業設計も見直します。また、音量や発音等でご不便をおかけした点についても、新たに字幕を付与するなどの対策を進めていく予定です。</p> <p>ここで学んだ知識は、経営者の視点を理解し、ビジネスの現場で正しい判断をするための大きな武器となります。ぜひ日々の業務や今後のキャリア形成に大いに活かしてください。</p>

18 2025年度秋学期	専門科目	Web応用	<p>【要約】 実践的なアプリ制作や教員の丁寧な解説が好評な反面、コードの詳細説明や課題への具体的なフィードバックを求める声が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にHTMLやJavaScriptでアプリを制作でき、達成感がありました。中島先生の解説もアヒル等の実物を用いた例えがあり分かりやすかったです。 ・Web入門よりスピード感があり大変でしたが、先生がコードを読み上げながら記述してくださり、一緒に勉強している感覚で楽しく受講できました。 ・個々のプログラムコードの詳細をもう少し詳しく説明してほしいです。図形描画の別コード例などがあると嬉しいです。 ・自作課題のフィードバックが、どう直せばよいか分からず再提出に繋がれませんでした。テキストとPC画面が違う際の対処など、より分かりやすいサポートがほしいです。 	<p>中島先生より Web応用の受講、ならびにオリジナルアプリ制作お疲れ様でした。皆さんがアイデアを形にし、達成感を得られたことを大変嬉しく思います。アヒルなどの小道具を用いて視覚的にイメージしやすい例えや、コードを読み上げながら進めるスタイルが、学びの一助となったようで、私も励みになっています。</p> <p>・本科目は「正答主義」ではなく、試行錯誤を重ねる「プロセス主義」を重視しています。エラーによるつまづきこそが大きな学びであり、それを通じて「問題解決力」が高まり、今後や卒業後の活躍につながると考えています。</p> <p>・個々のコードの詳細や別例についてのご要望もありがとうございます。授業では、自律的な学びと問題解決力の育成を促すため、あえて深掘りしない部分もありますが、各章末に参考リンクを紹介していますので、ぜひご活用ください。不明点は各回の「Q&A」のほか、「Zoom交流会」や「オフィスアワー」でもお気軽にご質問ください。</p> <p>・本科目の課題はWebアプリ制作であり、試験に相当します。これまでの授業内容を基に自身の力で取り組んでいただきます。改善方法が分からない場合は該当回の授業を振り返ることで解決でき、授業内容については上記のように質問も可能です。また、課題のフィードバックについては、課題の提示時に評価シートを示しており、また講義終了後には、総合的な総評コメントをだして、皆さんの今後に繋がるようにしています。</p>
19 2025年度秋学期	専門科目	Javaプログラミング	<p>【要約】 段階的な実践演習が好評な一方、資料の誤植や検索不可の不具合、説明不足、独特の言い回しによる分かりにくさに改善要望が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段階を踏んだ進め方や一貫した題材のWeb課題により、実践的なプログラムが完成していく実感が持て、楽しく学べました。 ・資料の誤植（図解のミス等）が多く、誤った学習に繋がる懸念があります。また、PDFの文字検索ができない不具合の修正や、プログラミング実行画面の動画提示も希望します。 ・専門用語の唐突な使用など説明不足を感じました。先生の独特な言い回しで意味の理解に苦労したため、少なくとも学習資料は誤解のない言葉遣いに改善してほしいです。 ・テストの前にソースコードをダウンロードできる配置への変更や、教科書とスライドの対応箇所の明記を希望します。1単位としては内容が多すぎると感じました。 	<p>今後も楽しみながら、プログラミングの学びを深めていってください</p> <p>陳先生より 段階的な課題を通じ、プログラムが実用的なものへ近づく過程を楽しんでいただけたなら何よりです。本科目は学ぶ内容が多いため、着実に実践力を養えるよう、過去のご意見を反映して一部の課題を穴埋め形式のWebレポートに変更するなどの見直しを行いました。</p> <p>ただ、資料の誤植やPDFの文字検索の不具合、専門用語の説明不足や独特の言い回しにより、学習にご苦労をおかけし申し訳ありません。テスト画面の配置や教科書対応箇所の明記といったご要望も踏まえ、誤解を招かない明確な言葉遣いへの修正と、学習環境の改善を順次進めております。</p> <p>ここで得たJavaの知識は、システム開発の実務や「Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE」などの資格取得に直結します。今後のキャリアを切り拓く強力な武器としてぜひご活用ください。</p>

20 2025年度秋学期	専門科目	Pythonプログラミング実践	<p>【要約】 Google Colabを用いた実践的な演習や、ポインターを用いた視覚的な解説が好評な一方、字幕の欠如やスライドの文字サイズ、資料配布の不備に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・GUIやWebアプリ、機械学習など題材が幅広く、Google Colabでのサンプル配布により実務に繋がる知識が定着しました。ポインターや書き込みを用いた解説も非常に分かりやすかったです。 ・他の科目と比べて字幕がないのが不便です。また、スライドの文字が細すぎてデスクトップPCでも読みづらいため、拡大が必要な場面がありました。 ・授業資料のPDFがある回とない回があり予習に不便なため、全回分（特に第15回など）の配布や、赤字の添削入りのPDFも希望します。 ・授業内容に対して小テストやレポートが簡単すぎると感じるため、実践科目としてもう少し難易度を上げて良いのではないのでしょうか。</p>	<p>松田先生より GUIや機械学習など多岐にわたるPythonの活用を体感し、実務への意欲を高めていただけたことを心強く思います。</p> <p>字幕の欠如やスライドの視認性、資料配布の不備について、全回分の資料提供や文字サイズの改善、記号の誤表記修正を順次進めていき、円滑な演習環境を整えます。また「課題が易しすぎる」との意欲的な声に応え、今後はプログラミング実技を増やすなど、期末試験の難易度向上を検討します。</p> <p>本講義で得た応用知識を、実際のアプリ開発や現場での課題解決にぜひ繋げてください。</p>
21 2025年度秋学期	専門科目	データサイエンス応用	<p>【要約】 Rを用いた実践的な演習や丁寧なレポート指導が好評な一方、資料の文字量不足や演習動画の追加を求める声がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・Rを用いた演習やレポート課題が実践的で、自ら考えて結論を出す力がつき、理解を深める手助けになりました。フィードバックも丁寧でした。 ・学習資料の文字量が少なく、口頭説明を書き起こす必要がありました。復習のために、説明内容の半分でも資料に記載してほしいです。 ・第4章の演習がHTMLとPDFのみの説明なので、動画でも併走してほしいです。コードの手打ちも大変なのでスクリプトの提供も希望します。 ・コード部分の字が小さく色が薄いため、視認性を高めてほしいです。初学者には難しいため、もう少し噛み砕いた説明があると助かります。</p>	<p>藤澤先生・浅田先生・安間先生より 本科目の受講お疲れ様でした。難易度が高めの演習科目ですが、最後まで諦めずに実践課題に取り組み、自ら考えて結論を出す力がついたとの声が寄せられたことを、担当教員一同とても嬉しく思っています。</p> <p>Rの操作やコードの視認性、学習資料の文字量などについて、皆さんからいただいたご意見をもとに、文字が小さく見えづらいスライドの修正や、情報の読み取り方に関する説明の追加など、順次改修を進めています。第4章の演習は、皆さんのペースで演習できるようにWebベースになっていますが、今後よりスムーズに手を動かせるようサポート方法を検討していきたいと思えます。</p> <p>目的に即して分析モデルを選び結果を解釈して次のアクションに繋げる力は、データサイエンスの現場で非常に重宝されます。ここでの学びを、ぜひ皆さんの今後のキャリアで役立ててください。</p>
22 2025年度秋学期	専門科目	Webアプリケーション開発	<p>【要約】 穴埋め形式の課題や実践環境でのWebアプリ制作が達成感に繋がったと好評な一方、後半の講義構成や資料のレイアウト、話し方に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・穴埋め形式のレポート課題により、細かい記述に気を取られず、プログラム全体の流れやデータベース連携の仕組みを効率よく理解できました。 ・実際に手を動かしてブラウザ上で動く掲示板を作成できたことで、成果が目に見え、大きな達成感と学習意欲に繋がりました。 ・第11回のファイル作成・実行の手順や、ファイルに書き込むべきコードの範囲が分かりにくかったため、説明や追加資料を増やしてほしいです。 ・後半にかけて座学が減り課題中心になる点や、語尾が上がる話し方、テキスト印刷時のレイアウト（1行だけ印刷される等）、コードをコピーする際の余分な行間について改善を希望します。</p>	<p>大塚先生より 実際に手を動かして電卓や掲示板などを作成し、プログラムがブラウザ上で動くことを確認できたことが、皆さんの達成感や学習意欲に繋がったことを実感しました。</p> <p>第11回等のファイル作成・実行の手順や課題の範囲が分かりにくかったというご意見、また後半の講義構成についてのご指摘は課題として受け止めています。よりスムーズに実習を進められるよう、課題提出時の注意事項や必要なファイルを「お知らせ」で明確にアナウンスするなどの改善を図りました。話し方やテキストのレイアウト等についても、今後のコンテンツ制作の参考とさせていただきます。</p> <p>穴埋め課題等を通じて自分で考えながら試行錯誤する経験は、実務でも必ず役立ちます。本科目で身につけたWebアプリケーション開発の基礎を、ぜひ次のステップに活かしてください。</p>

23 2025年度秋学期	専門科目	Linuxサーバ構築演習	<p>【要約】 実践的な演習や丁寧な質問対応が好評な反面、Mac向け補足やエラー解説、クラウド環境での演習を求める要望が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・自分のパソコンで課題環境を作り演習に取り組めたことで良く理解ができ、達成感がありました。迅速な質問回答にも感謝しています。 ・Macユーザー向けの説明補足や、エラー対応についての説明、実際に動かしているところの動画解説があるとより学習しやすいです。 ・VirtualBoxがPCのセキュリティで入らないため、クラウド上の仮想環境で行ってほしいです。 ・過去の質問集の共有や、さらに発展的な内容を学べる機会があると嬉しいです。</p>	<p>池田先生より ご自身のローカル環境に仮想マシンを作り、ゼロからサーバを構築して「動くもの」を確認する演習を通じて、達成感を得ていただけたなら嬉しく思います。TAとも連携し、皆さんの学習をサポートできたことを実感しています。</p> <p>macユーザー向けの補足資料については、以前いただいたご要望を踏まえて追加とバージョンアップに対応いたしました。引き続き個別質問にも対応しながら進めていきます。また、クラウドではなくVirtualBox等のローカル環境を用いるのは、サーバの仕組みを根本から深く理解していただくという本科目のテーマによるものですが、セキュリティ等の制約で苦労された点については今後の運営の参考にいたします。</p> <p>さらに発展的な内容を学びたいという意欲的な声にお応えし、応用的な学習コンテンツを追加する予定です。今後もこの演習で得た知識を活かして、様々なサーバ構築に挑戦してみてください。</p>
24 2025年度秋学期	専門科目	認証システム論	<p>【要約】 実務や生活に役立つ体系的な解説が好評な一方、スライドの文字量や専門用語の解説に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・普段意識しない認証システムの裏側や最新動向、ユースケース等が整理されており、実生活や業務に直結する新たな知識を得られました。 ・第15回のGoogle認証連携の解説など至れり尽くせりでしたが、OAuth 2.0等の実際の実装を「演習」として実施してほしいです。 ・小テストの意図が読み取りにくい場面や、スライドが文字中心で読み上げ主体の回があったため、適宜図解や体験談などの補足を交えてほしいです。 ・専門用語が既知の前提で進む箇所や資料の誤字脱字が気になりました。また、AIエージェントと認証のようなさらに新しい話題の提供も期待しています。</p>	<p>末永先生より 「本人確認」技術の徹底的な深掘りや最新事例が、皆さんの実生活や業務に役立つ知識となったことを嬉しく感じます。</p> <p>文字中心のスライドや専門用語へのご指摘は真摯に受け止め、図の追加による煩雑化を避けつつ、キーワードを強調する等の視認性を高める工夫を進めています。また、一部の不適切なテスト設問の修正や、自発的な調査を求めるレポート課題における評価基準の事前説明の追加は既に改善を済ませました。</p> <p>OAuth等の実装演習やAIエージェント等の最新事例へのご要望も、今後の講義拡充の参考にします。本科目で得た「技術力と倫理観」の両立という視点を、実社会のセキュリティ課題解決に力強く活かされることを期待しています。</p>
25 2025年度秋学期	専門科目	事業創造詳論	<p>【要約】 丁寧な説明や実例が好評な反面、実践演習の追加、小テストの解説充実、図解の増加やアプリ改善の要望が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・説明がわかりやすく自分だったらどうかと考えながら受講できました。学習内容も詰め込みすぎず、ゆっくりと話してくださり良かったです。 ・マーケティングや収支計画などについて、架空の設定をもとにでもいいので、実際に手を動かすような講義があってもよかったのではないかと思います。 ・小テストの解説が「第〇回〇章からの出題」だけでは不十分だと感じます。なぜその回答になるのか、より具体的な解説があると良いと思います。 ・スライドが文字が多めなので、図などをもう少し使っていただくとわかりやすいと思います。</p>	<p>馬場先生より 事業計画書作成のプロセスは、全体を俯瞰する「経営者視点」を養う最良のトレーニングです。</p> <p>「実際に手を動かしたい」との声を踏まえ、25年度秋学期より第10回に生成AIを用いたビジネスモデルや事業計画書作成の演習を「自由課題」として追加しました。実践訓練としてぜひ挑戦してみてください。</p> <p>また、小テストへの具体的な解説追記やスライドの図解化を順次進め、アプリの不具合はシステムへ改善を要請しました。</p> <p>ここで学んだ知識は起業のみならず日々のビジネス現場で必ず活きます。キャリアの武器として大いにご活用ください。</p>

26 2025年度秋学期	専門科目	ITプロジェクトマネジメント講義	<p>【要約】 実務に即した解説や丁寧な復習、見やすい資料が好評な一方、入門科目との差別化や実習を求める声もありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・現場経験に基づく事例や人間臭い話を含めた説明が、実戦を見据えた内容で非常にためになり、業務直結で対処策の詳細事例まで学べました。 ・毎回、講義の最初に前回の振り返りがあること、図表を用いた分かりやすいスライドや適切な難易度の小テストなどにより効率的に学習できました。 ・基礎の別講座と共通する内容が多いため、さらなる実力向上のために異なる内容の拡充や、実習・実技、具体的なケーススタディを増やしてほしいです。 ・PMBOK第7版に関する知識の紹介や、あまり文字文字しないスライドへの配慮、勝先生と直接お話しできる交流会の機会などがあれば嬉しいです。</p>	<p>勝先生より 講義を通じて、現場の生々しい課題や「人間臭い」側面に関心を持つ受講生が多く、本質的な学びを提供できた実感しています。</p> <p>入門科目との差別化として、より実務的な「要件定義」や「73型開発」の要諦を重点的に扱いました。スライドをあえて要点提示に留めているのは、実務で必須となる「自ら情報を整理する力」を磨くための意図的な設計です。また、より適切な理解を確認できるよう、期末試験の設問（三点見積りへの変更等）も既に改善を済ませています。</p> <p>最新知見や交流会への要望もありがとうございます。個別の疑問はオフィスアワーも活用してください。習得した「段取り」の技術が、皆さんの今後の仕事を支える確かな力となることを願っています。</p>
27 2025年度秋学期	専門科目	商品企画論	<p>【要約】 現場のリアルな成功・失敗事例を通じた学びが、多くの受講生の胸を打ち、実務への意欲に繋がったと高く評価されています。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・インタビュー形式の動画で、経営者や現場の方の情熱、苦労、失敗談に直接触れられ、毎回の講義がドキュメンタリー番組のように楽しみました。 ・事例を通して、インサイトの発掘や商品開発の思考プロセスが具体的に理解でき、ボランティア活動や自身の店舗経営にも直結する有意義な学びとなりました。 ・小規模企業向けのニッチな企画としては究極の事例だと感じる一方で、数百億円～1兆円規模の国際企業には適用が難しいため、対象規模の明確化や大規模事業の事例追加も検討してほしいです。 ・取り上げられた一部の企業や人物について、製品保証等の対応で社会的な信用に問題があると感じるため、素晴らしい講義の格を下げないためにも事例の選定を見直してほしいです。</p>	<p>北村先生より 現場の情熱や失敗談からインサイト発掘のプロセスを深く理解し、実務や自身の活動に活かそうとする皆さんの熱意が教員として励みになります。</p> <p>本講義は常識とされるマーケティング手法を問い直し、ゼロから価値を生む源泉を学ぶことを主眼としています。国際企業の大規模企画には適用が難しいとの声もありますが、根底にある思考法は通底すると考えています。大規模事例の追加は今後の検討課題とします。</p> <p>また、一部事例の企業の社会的信用に関する厳しいご意見も真摯に受け止めます。本講義では結果の成否に関わらず、企画過程の試行錯誤や挫折の経緯から教訓を引き出すことを重視して事例を選定しています（関係各所から批判の声もあがった商品企画の挫折事例を、皆さんの学びのために講義の中であえて取り上げる判断をいたしました）。得られた思考プロセスを実践的な活動の糧としてください。</p>
28 2025年度秋学期	専門科目	地域マーケティング論	<p>【要約】 現場の熱意を伝えるインタビューが実践的と高評価。一方、取材音声の聞き取りにくさやレポートへのフィードバック不足に改善の声がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・北海道から沖縄まで足を運んだ丁寧な取材と、ドキュメンタリーのような動画構成が、実践的なマーケティングの理解に直結しました。 ・実在する地域おこしの当事者から、成功例だけでなく失敗からの学び（エラーから学ぶ姿勢）も聞いたことが、今後の活動への大きな原動力になりました。 ・取材中の音声の一部聞き取りにくかったことや、ゲストの回答が質問とズレているように感じる場面がありました。 ・一生懸命作成したレポート課題に対して点数のみでフィードバックがなく、不信感を抱いたため改善を希望します。また、オンライン交流の機会も欲しいです。</p>	<p>北村先生より 全国を巡る取材を通じ、教科書的な「当たり前」を疑う実践的なマーケティングの面白さを感じていただけたことに、確かな手応えを得ています。トライ&エラーから学ぶ姿勢への共感、現場のリアルを知るための重要な第一歩です。</p> <p>ご指摘いただいた一部の取材音声の聞き取りにくさや、インタビュー編集の違和感については、より自然に視聴できるよう既に音声バランス等の調整を行います。一方で、皆さんの熱意あるレポートに対して、フィードバックコメント入力が学期末となったことについては、学生の皆さんのお声を真摯に受け止め、フィードバックを早期に完了させるよう改善に努めます。</p> <p>本講義で得た「現場の事実から理論を導き出す」編集者的な視点を、今後のビジネスや地域課題の解決に力強く役立ててください。オンライン交流へのご要望も今後の検討課題といたします。</p>

29 2025年度秋学期	専門科目	ビジネスモデル構築論	<p>【要約】 実例を交えた体系的な学びが好評な一方、試験の回数制限や実践的な課題の追加を求める声がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・ニトリなどの身近な企業事例を用いた解説が具体的で興味深く、実務経験と結びつけた深い学びが得られました。 ・スライドの見やすさや、次回のポイント提示などの構成が予習・復習に役立ち、IPA試験対策としても有用でした。 ・学んだ内容を自分なりにアウトプットできるディベートやレポート課題の設置、また講師の著書「ChatGPT×マーケティングの教科書」の活用を希望します。 ・中間試験の受験回数が1回のみである点について、他科目と同様に複数回の受験を可能にしてほしいです。</p>	<p>小宮先生より ニトリ等の実例を通じ、ビジネスモデルの理論を実務経験と結びつけて深く考察された点を頼もしく思います。</p> <p>以前のご要望を受け、学んだ内容をアウトプットし定着を図るための「任意ディベート」を設置しています。学習資料の文章量は、教科書に代わる専門的な知識を網羅するための設計ですが、私の最新著書の知見も適宜盛り込み、より実務に即して活用できるよう改修を計画しています。</p> <p>なお、中間試験の受験回数については、限られた条件で初めて目にするケースを分析し、戦略を構築する「実践的な判断力」を評価するため、あえて1回に限定しました。この試験を実務の緊張感に近い自己確認の場と捉え、ここで得た分析力を今後の新規事業構想に活かされることを願っています。</p>
30 2025年度秋学期	専門科目	プロダクトマネジメント	<p>【要約】 生成AIの活用事例や実務に直結する体系的な学びが好評な一方、資料の情報量やフィードバックに要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・生成AIを用いた演習や事例紹介が斬新で、実務への落とし込みや新たな視点を得るための大きなヒントになりました。 ・ポインターを用いた視覚的な解説や充実した学習資料のおかげで、プロダクトマネジメントの全体像を体系的に理解できました。 ・スライドの情報量が多く講義中は追うのが大変だったため、要点を絞るなどの工夫があると助かります。 ・レポート課題に対し、単なる回答確認だけでなく、個別の状況に合わせたより丁寧なフィードバックを希望します。 ・デジタルマーケティングや世界各国のプロジェクト事例など、さらに深掘りした知見を学べる機会を期待しています。</p>	<p>除村先生より 価値創造から獲得に至る全15回のプロセス、そして生成AIを駆使した実践的な課題に最後まで真摯に向き合われた皆さんの取り組みに、私自身も多くの刺激を受けました。</p> <p>資料の情報量については、実務での「再現性」を重視して詳細を期したのですが、講義動画ではポインターやマーカーを用いて要点を明確に示す工夫を今後も継続します。なお、計算問題の表現や用語の細かな表記については、よりスムーズに理解できるよう既に改善を済ませています。</p> <p>実務上の悩みや深い疑問があれば、毎週開催している「談話室」へぜひお越しください。本講義の知見を一つの武器として、現場で新たな価値を創出されることを願っています。</p>
31 2025年度秋学期	教養科目	キャリア入門	<p>【要約】 丁寧な説明や卒業生の生の声が好評な一方、50代などシニア層のキャリア構築に対する具体的なアドバイスを求める声が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・話し方が聞き取りやすく、現在の自分と重ねながら将来について真剣に考えるきっかけになりました。 ・卒業生のリアルな声を聞けるインタビューが、キャリアの参考になりとても良かったです。 ・マイナビの活用や、大学内外のサポートについて知れた点も役立ちました。 ・自分のように50代でキャリアがほとんどない場合のアドバイスも欲しかったです。</p>	<p>濱田先生より 皆さんがご自身の状況と重ね合わせながら真剣にキャリアについて考え、提出していただいたレポートやディベートの質の高さに、私も大変驚き、嬉しく思っています。卒業生インタビューや外部ツールが、将来を考える良い刺激になったようで何よりです。</p> <p>一方で、50代など社会人の方へのアドバイスについてはご期待に沿えず申し訳ありません。シラバスにも記載の通り、本科目は主に就業経験の浅い方を対象として設計しております。社会人の方のキャリア形成については「キャリアデザイン」という科目の受講をおすすめしております。また、個別のアドバイスをご希望の場合は、オフィスアワーや大学のキャリアサポートセンターをぜひご活用ください。</p> <p>キャリアに「正解」はありません。本科目で学んだ自己理解やキャリアプランニングなどの手法を活かし、皆さんが自分らしいキャリアを一歩ずつ歩んでいかれることを心より応援しています。</p>

32 2025年度秋学期	教養科目	ロジカルライティング	<p>【要約】 実用的な文章力や分かりやすい解説に満足する一方で、資料の文字サイズや音質、システム機能に不便さを感じています。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・ゆっくり丁寧な解説や、メール等の具体例を交えたシンプルなスライドは、記憶に残りやすくとても分かりやすかったです。 ・敬語や議事録など社会人の基礎が体系的に学べました。実務や大学の課題ですぐに活用できるため定着させていきたいです。 ・特定の書籍からの引用が多く感じました。資料の文字が小さく見づらい点や、第2章の桜の例題の問いの立て方には疑問を感じます。メールとレポートの文節の区切りの違いも詳しく知りたいです。 ・移動時間を有効活用できるよう、スマホの音声バックグラウンド再生機能が欲しいです。講義の音質自体も改善してほしいです。</p>	<p>小野先生より 社会人としての基礎や、大学での学びに直結する実践的な「書く力」が身についたと実感していただけたことを、教員として大変うれしく思います。</p> <p>資料の文字サイズや例題の表現、また音質についてのご指摘は真摯に受け止めます。これを受け、学習資料の視認性を高め、一部の表現や音声バランスを見直すなどの改修を進めることを検討いたします。なお、バックグラウンド再生機能等のシステム面へのご要望については、大学全体での改善課題として共有させていただきます。第2回の桜の例題については、ご指摘を踏まえ、注釈を付ける形で修正しました。</p> <p>文章を書くことは、自分の考えを相手に的確に伝える重要なコミュニケーションです。ぜひ、日々のメールやレポート作成の際に今回学んだルールやマインドマップを活用し、実社会で生涯役立つ「書く力」に磨きをかけていってください。</p>
33 2025年度秋学期	教養科目	文献調査と整理術	<p>【要約】 要約や文献検索の基礎が「永久保存版」と高評価。定員拡大や発展科目の新設を望む声も寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・要約の難しさや文献検索のコツ、引用への配慮など、今後のレポート執筆や仕事に直結するスキルを習得できました。 ・躰きを予見したお知らせや丁寧なQ&A、Zoom対応により、他の科目で余裕がない時でも安心して学習を完遂できました。 ・エントリー制を廃止して全学生が受講できるようにしてほしい、また必修化や発展科目の設置を検討してほしいです。 ・学習資料の質は非常に高いが、リアルタイムセッションでは先生にもう少し自信を持って発言してほしいです。</p>	<p>吉田先生より 要約や文献検索の重要性を学び、実務等へ活かそうとする皆さんの前向きな姿勢を実感しています。</p> <p>円滑な学習を支えるため、躰きやすい箇所の事前発信や、24時間以内の課題フィードバック体制を整えました。難所である第6回には、補助資料や解説動画を設置し、理解を助ける工夫も済ませています。なお、定員制やエントリー制の維持は、こうしたきめ細かな指導の質を守るためのものですので、しばらくは現状を継続します。</p> <p>交流会での振る舞いへの助言も感謝します。授業の内容についてのご質問には明確に回答できているはずですが、今回のご指摘は授業内容とは離れての、社会問題に関してのフリートーク中のことと想像します。唯一絶対の正解が存在しない問題について教員に「正答」を求めているようでしたので、参加者自身でも考えてもらえるよう、あえて教員からは強く意見を発することは控えました。明確な正解がない問題を話し合う際には、受講者の皆さんも自分自身の意見を持っていただき、対等に議論ができればより良い学びの場となると考えております。</p>
34 2025年度秋学期	教養科目	アカデミックライティング	<p>【要約】 厳格な指導で文章力が向上したと好評な反面、課題期限の分かりにくさや、フィードバックの時期、文字数指定の明記に改善要望が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・難易度が高く松尾先生の指導も厳しめでしたが、的確な指摘や他者のレポート閲覧を通じ、自分の考えを言葉にする力が身につきました。 ・Cloud Campus上の期限と実際の提出期限が異なり分かりにくいです。文字数指定も口頭だけでなく最初から明記してほしいです。 ・課題に対するフィードバックのタイミングが遅く、修正に迷いました。もっと早い段階で指示がほしいです。 ・講義中の説明がやや単調で少なめに感じたため、具体例の追加や、Google Scholarの紹介をより早い回で行ってほしいです。</p>	<p>松尾先生より 「アカデミックライティング」の受講、お疲れ様でした。自ら設定した社会課題に対し、信頼できる情報を根拠として論証するという高度な学修プロセスをやり遂げた皆さんを誇らしく思います。</p> <p>CloudCampusの制約で一部の課題の期限がサイト上では提示されないことを説明し、課題の期限を各回の講義スライドと第1回学習資料に記載しました。文字数については各回の課題の文字数についての考え方と上限文字数を記載しました。全ての課題の採点は課題締め切り後、1週間以内に行っています。</p> <p>知識とスキルの修得、考察と推敲など、取り組む内容が多く、難度が高いと感じたかもしれませんが、倫理的に調査、考察し、その内容を文章で分かりやすく使える力はこれからの学修でも、職業生活でも必ず役に立つと思います。この科目での学びをもとにさらなる探求を続けていってください。</p>

35 2025年度秋学期 教養科目 宗教学入門

【要約】

落ち着いた丁寧な解説で宗教への理解が深まったと好評な一方、字幕の追加や仏教の宗派解説に要望がありました。

【学生の意見・要望】

・落ち着いた聞き取りやすい話し方と、情報量が適切でシンプルなスライドにより、初心者でも分かりやすく学べました。
・馴染みの薄い各宗教の歴史や価値観を知ること、海外の人々の言動の根底にあるものを理解でき、宗教への印象が大きく変わりました。
・入門編としての配慮が感じられ、楽しみながら知識を増やすことができました。
・講義に字幕があるとより助かります。また、仏教の歴史において、各宗派ができてきた流れや宗派ごとの教えの違いについても、もっと詳しく知りたかったです。

小野先生より

宗教を通して異文化や世界情勢の背景にある価値観に触れ、「宗教への印象が大きく変わった」との声をいただき大変うれしく思います。初心者にも分かりやすいよう、各宗教への配慮と丁寧な解説を心がけた点が皆さんの理解の一助となったなら幸いです。

仏教の宗派の歴史や教えの違いについてさらに深く知りたいというご要望をいただきました。本科目は世界の三大宗教を中心に幅広く学ぶ「入門」としての構成上、各宗教を掘り下げる時間には限りがあります。ぜひシラバスで紹介した参考図書等も活用し、ご自身でも探求を広げてみてください。また、字幕等のシステムに関するご要望については、皆さんが今後受講される他の科目でさらに学習環境が向上するよう、大学全体で順次対応を進めております。

宗教を学ぶことは、グローバル社会における対立の背景や他者への理解を深める重要な鍵となります。本科目で得た「新たな視点」を、これからの人生や学びの糧として大いに活かしてください。

36 2025年度秋学期 教養科目 地域おこし実践論

【要約】

実例を交えたインタビュー形式の解説が実践的と好評な一方、動画の音量差や教員の主観的な意見への指摘がありました。

【学生の意見・要望】

・地域産業の特殊性や成功者の生の声など、様々な好事例を学べたことで、自身の小さな行動やビジネス検討に直結する有意義な学びを得られました。
・インタビュー形式の講義や、教員の経験に基づく適切な質問展開が非常に分かりやすく、商品開発やマーケティング等の専門科目への学習意欲も高まりました。
・客観的な根拠に基づく話よりも、教員独自の考えや単語の定義（座組など）が多分に含まれているように感じられ、学問としての成立に疑問を抱く場面がありました。
・講義中の先生の声とインタビュー時の対象者の声の音量差が激しく、特に「さきめし」の回では頻繁に音量調整をしなければならず聞き取りづらかったです。

北村先生より

実際の事例やインタビューの生の声を通じ、学生の皆さんの新たな行動やマーケティング等の専門科目への学習意欲に結びついたことを嬉しく感じています。

独自の用語や客観的根拠に乏しいというご指摘ですが、本講義は現場の実例をまず取材し、そこから「座組み」等の実践的な視点を導き出すアプローチを採っています（念のため申し上げますと「座組み」とは私個人による造語ではなく、地域おこしやマーケティングの現場で、官民双方の実践担当者がしばしば用いている言葉であり、重要視されている概念です）。元編集者の背景を活かし、教科書的な常識を疑う実践力を養うことが、本科目における大きな狙いです。なお、マーケティングにおける学問的概念や用語は、私が担当する専門科目（商品企画論、地域マーケティング論）では、より詳しく解説することを目指しております。本科目は教養科目であり、まずは地域おこしやマーケティングに関する興味関心を学生の皆さんに抱いていただくことが目的のひとつであることもご理解いただけますと幸いです。

また、「さきめし」の回などの動画の音量差は既にバランス調整を済ませました。なお、現場目線の思考をさらに深めるため、2026年度に向けて学生と一緒に現地を実践するフィールドワークを計画しています。本講義での学びを今後の活動に存分に活かしてください。

37 2025年度秋学期	教養科目	ゲームの歴史と未来	<p>【要約】 戦略や経営などビジネス視点でのゲーム史解説が興味深いと好評な一方、文字だけの配布資料や一部企業への内容の偏りに改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・「枯れた技術の水平思考」やブルーオーシャン戦略など、身近なゲームを通じて企業の栄枯盛衰やビジネスモデルを学べる点が非常に面白かったです。 ・実際のゲーム画面や豊富な写真を用いたスライドと分かりやすい解説のおかげで、当時の時代背景や技術的革新への理解が深まりました。 ・復習用の配布資料（PDF）が文字のみで講義スライドと異なるため分かりにくいです。スライドの図解や年表をそのまま資料に反映してほしいです。 ・任天堂の解説が手厚い反面、ソニーの解説が薄い点や、DL版を含めない販売本数での比較に不公平感がありました。</p>	<p>西村先生より 身近なゲームを通じ、企業の戦略やビジネスモデルの変革に興味深く学んでいただけたことを大変嬉しく思います。豊富な写真を用いた解説が時代背景や技術革新の理解に繋がりがり何よりです。</p> <p>スライドのPDF配布を望む声を多くいただきましたが、シラバスに明記の通り、本科目はテキスト形式の資料のみを配布する方針です。また、企業解説の比重や販売データ比較へのご指摘も真摯に受け止めます。講義データは毎学期更新していますが、本科目は歴史の単なる網羅ではなく、覇権交代の構造やビジネスの基礎を分析し理解することに主眼を置いています。皆さんからの貴重なご意見は今後の講義の参考にさせていただきます。</p> <p>歴史から得た多角的な分析力を、ぜひ今後の活動の糧にしてください。</p>
38 2025年度秋学期	教養科目	SDGs入門—持続可能な世界の実現のために—	<p>【要約】 丁寧な説明によりSDGsへの理解が深まったと好評な反面、AI生成動画の音声の不自然さ、スライドの文字量、小テストの出題方法などに改善要望が寄せられました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・デジタル技術とSDGsの繋がりがりや、単なる社会貢献ではなく収益確保の重要性など、深い理解が得られ、仕事や他の科目でも参考になりました。 ・第8回のAI生成動画は斬新だった反面、抑揚がなく聞き取りづらかったため、先生ご本人の講義の聞きやすさや安心感を改めて実感しました。 ・序盤の17の目標の解説で、次の目標に移ったことが分かりにくかったため、「次の目標について」等の明確な合図がほしいです。 ・スライドの文字が多く読みづらいです。また、小テストの出題が難しく、資料と表現が微妙に違うため理解に苦しむ箇所がありました。</p>	<p>小野先生より デジタル技術を活用した課題解決や、社会貢献と収益確保の両立など、現代の複雑な社会課題を自分事として捉え、深く考察していただけたことを頼もしく感じています。</p> <p>第8回の生成AIを用いた動画は、最新のデジタル技術を体感していただく試みでしたが、音声の不自然さ等でご不便をおかけしました。また、文字量が多く読みづらいスライドについては、説明箇所に合わせて表示されるようアニメーションを追加する改修を行いました。難解で「引っかけ」のように感じられた小テストについても、細かな字面ではなく、ESGやマテリアリティといった本質的な理解を問う設問へと全面的な見直しを済ませています。</p> <p>SDGsが扱う課題には、様々な視点や賛否が存在します。本科目で学んだ「未来から逆算する（バックキャスト）」思考を活かし、皆さんがそれぞれの現場で持続可能な社会の創り手として活躍されることを期待しています。</p>
39 2025年度秋学期	外国語科目	基礎英語II	<p>【要約】 リアルな発音やグループレッスンが好評な一方、システムの操作性やレッスンレベルのミスマッチ等に改善要望がありました。</p> <p>【学生の意見・要望】 ・多様なシチュエーションの文章が扱われ、様々な人種の発音もあり、英語に触れるにはとても良いと感じています。 ・CU Englishがスマホで操作できて自分のペースで進められる点がとても良かったです。 ・グループレッスンで言っていることが理解できず時間が過ぎました。自分のレベルに合った部屋に入れるようにしてほしいです。 ・間違えた時に確認したいのにすぐ次の問題に移行してしまいます。「次へ」のボタンがあればもっと使いやすかったです。</p>	<p>白須先生・井上先生より リアルな英語に触れ、ご自身のペースで学習を進められたとの評価をいただき、大変頼もしく感じています。</p> <p>CU ENGLISHの操作性について、「間違えた問題を復習したいのにすぐ画面が進んでしまう」といったご指摘を確認しました。皆さんの学習効率がより上がるよう、改善に取り組んでいきます。</p> <p>また、グループレッスンが難しかったという戸惑いの声もありました。様々な背景の人々が集う場は圧倒される反面、実践的な異文化コミュニケーションの第一歩です。不安を感じる方は、私たちが開催するライブセッションや、学内コミュニティの「#ひとこと英語」などもぜひ活用し、少しずつ会話への自信を深めてみてください。</p> <p>語学の習得は継続が鍵です。今回の学びを土台に、皆さんの可能性をさらに広げていってください。</p>

【要約】

日々の学習によるリスニング力向上や丁寧なサポートが高評価な一方、教材の音声品質や復習用日本語資料の不足に改善要望がありました。

【学生の意見・要望】

- ・丁寧なQ&A対応や公式コミュニティでの発信、毎日の学習を通じたリスニング力の向上など、充実した教材内容が大変勉強になりました。
- ・心理的ハードルが高かったグルーブレッスンも、思い切って参加して良かったです。自分のレベルだけでなく他レベルのレッスンにも参加したいです。
- ・教材の音声について、音量差やこもった声で聞き取りづらい箇所や、特定の地域特有の発音があったため、まずは標準的な発音で学習したいです。
- ・アプリでの入力ミス（ミスタッチ）が不正解扱いになる点が不満です。学習の復習をしやすくするため、重要単語や文法ポイントを解説した日本語資料が欲しいです。

石巻先生より

日々の学習の積み重ねがリスニング力の向上に繋がりと、勇気を出して参加したグルーブレッスンで確かな手応えを掴んでいただけたことを、非常に心強く受け止めています。

特定の地域の発音や聞き取りにくさに関するご指摘ですが、本講義では「個性的な声による複雑な長文解説」を正確に理解することを到達目標の一つとしています。実社会の多様な英語に触れることで、実践的なコミュニケーション力を養っていただく意図があります。

アプリの入力判定については、正確な綴りの習得がビジネスでの信頼に直結するため、厳格な設定としています。復習用の日本語資料に関しましては、シラバスで紹介しているオンライン辞書や文法サイトを活用し、自発的にノートを作成する学習法を強く推奨します。